

# 農業農村整備を契機とした 地域振興事例集 (第4弾)

---

生産性の高い農業と活力ある  
農村を実現する農業農村整備

---

令和 3年 3月  
北海道農政部

## ■農村振興事例集 目次(北海道)

年月	振興局	タイトル	関係市町村	主な作物	頁
R3.3	空知北部耕地出張所	酒米栽培におけるICT技術による営農作業省力化の取組	新十津川町	水稲、玉ねぎ、ねぎ等	1
R3.3	空知南部耕地出張所	【国土強靱化】大規模地震に備え、ため池の耐震化整備により下流地域を守る！	栗山町	水稲、小麦、大豆、南瓜等	2
R3.3	石狩	【国土強靱化】湛水被害を未然に防止し、良質な自給飼料の安定生産による地域活性化	江別市	牧草等	3
R3.3	後志	ほ場の大区画化とスマート農業の推進によるおいしい「らんこし米」づくり	蘭越町	水稲、小麦、大豆、メロン、アスパラ、イチゴ等	4
R3.3	胆振	用水の安定供給による「オロフレトマト」の産地ブランド化	壮瞥町	水稲、トマト、ほうれん草、はれいしよ、ピーマン、キャベツ、かぼちゃ、里樹	5
R3.3	日高	余剰労力を活用した高品質作物栽培と収量の向上を目指して	新ひだか町	水稲、ミニトマト等	6
R3.3	渡島	高収益作物のブランド野菜「北の華(ニラ)」の生産拡大	知内町	水稲、ニラ、ほうれんそう、トマト等	7
R3.3	檜山	地域活性化・ブランド力向上(あっさぶメーカーイン)・スマート農業の推進	厚沢部町	パレイショ(メーカーイン)、キャベツ豆類、小麦、アスパラガス等	8
R3.3	上川中部整備室	酒造好適米作付け面積の拡大	旭川市	水稲、小麦、大豆	9
R3.3	留萌	町全域にて大区画化を推進 ～ 将来に向けた多様な米作りの継承～	増毛町	水稲・果樹(サクランボ・リンゴ・梨・ブドウ他)・そば等	10
R3.3	宗谷	【国土強靱化】大規模地震に備え、営農用水施設の耐震性強化	稚内市	牧草	11
R3.3	オホーツク東部耕地出張所	高収益作物(たまねぎ)の生産拡大で所得向上	美幌町	たまねぎ、にんじん、馬鈴薯、小麦、てんさい等	12
R3.3	オホーツク中部耕地出張所	国内外への新たな販路の拡大により、たまねぎの生産拡大	北見市	たまねぎ、小麦、甜菜、馬鈴薯、小豆等	13
R3.3	十勝北部耕地出張所	農産☆畜産☆商工連携によるブランド化とにぎわいのある地域づくりの取組	上士幌町	小麦、豆類、ばれいしよ、てんさい、野菜類・牧草、青刈りとうもろこし	14
R3.3	釧路	生産性と品質の向上による酪農経営の安定化	浜中町	牧草等	15
R3.3	根室	“新しいひとの流れを創造”生乳生産量日本一「ミルク王国べつかい」の取組	別海町	牧草等	16

# 酒米栽培におけるICT技術による営農作業省力化の取組【北海道新十津川町】

## 【生産者の声】

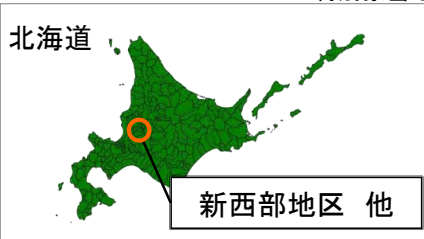
基盤整備をする前と比べてほ場の大区画化、湿害防止により、良質米の割合および酒米作付面積が増加しています。



ピンネ酒米生産組合 組合長 Sさん

## 【取組地域の概要】

- 位置  
北海道 新十津川町（過疎地域 山振、特別豪雪地帯）



- 主要作物  
・水稲、玉ねぎ、ねぎ等

- 主な支援施策  
・道営ほ場整備事業、中山間整備事業、担い手育成基盤整備事業 (S50~H30)

## 基盤

### 大区画化や暗渠排水工(集中管理孔)により省力化

- 水田の大区画化や集中管理孔を併設した暗渠排水の整備により、食用米に加え作付面積全道1位の酒米の生産に重点



汎用化 大区画化  
1.5haと1.0ha



集中管理孔を併設した暗渠排水



## 基盤整備

(S50~H30)

## 【整備前】

北海道有数の穀倉地帯で、高齢化、人口減少の現状において、狭小な区画や排水不良により農産物の生産性や品質の低下などが課題。



小区画 約0.5ha



排水不良土壌

## 生産現場

### ICT技術の積極的な導入

- 町で補助するGPS田植機による効率的な田植え、ドローンによる防除を行い省力化
- 導入実績：GPS田植機41台、ドローン31台

### GPSアンテナ



## 地域の取組

### 酒米の流通や加工品販売

- 酒米は町内の金滴酒造や札幌の日本清酒を始め、道内外へ流通
- 酒の製造過程で削り落とした酒米粉を利用した甘味料「しんとつかわお米シロップ」を活用したパン（2020年1月にセイコーマートで販売）と振興公社で製造したアイスクリーム



## 担い手

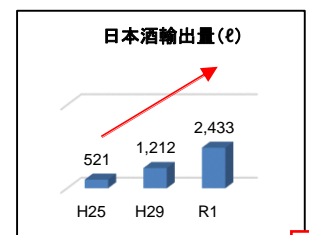
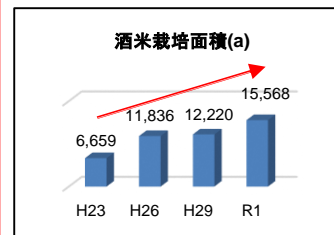
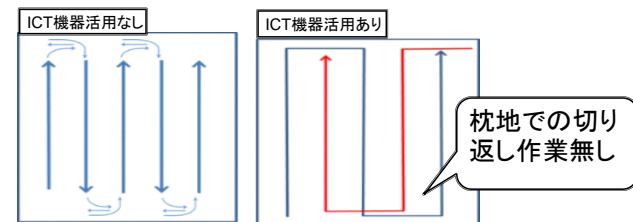
### 着実な新規就農者の増

- 町とJAでピンネ公社を作り、新規就農の斡旋 R1実績は17人（農家跡取り含む）

### 大区画化やICT技術の推進による高品質米の生産、加工品の販路拡大

- 大区画化やICT活用により省力化が図られ、酒米の生産増や日本酒の輸出量の増加により、農家所得が向上

GPSガイダンスを活用した走行ラインの効率化イメージ

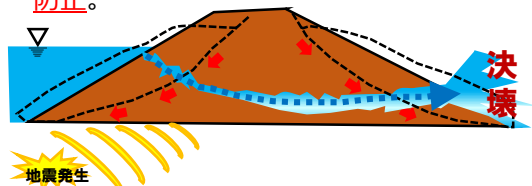


出典：JAピンネ

出典：金滴酒造(株)

【工夫のポイント】

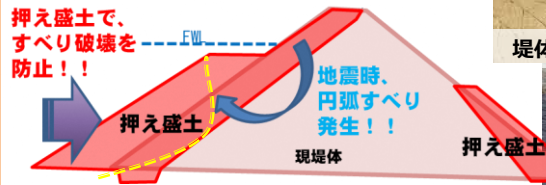
- 近年、激甚化傾向にある北海道胆振東部地震級の大規模地震等の被害に備えるためため池の耐震化対策は喫緊の課題。
- 耐震性調査の結果、耐震性が確保されていないため池の耐震化整備を実施し、堤体の決壊及びため池下流域の被害を未然に防止。



ため池決壊による浸水被害を防止

ため池耐震補強工事の実施により、ため池決壊のリスクを取り除き、下流域の安全性を確保。

基盤



【背景】

大規模地震の発生時にため池の決壊により、多大な被害が発生する恐れ。



想定被害区域には、農地のほか、主要道道、農業用施設、住宅等集落が存在。

【取組地域の概要】

- 位置  
北海道夕張郡栗山町 (過疎)



- 主要作物  
・水稲、小麦、大豆、南瓜等
- 主な支援施策

- ・道営農村地域防災減災事業 (ため池整備事業 (地震対策ため池防災工事)) (H28～)
- ・道営農村地域防災減災事業 (ため池整備事業 (ため池整備工事)) (H28～R1)
- ・団体営農村地域防災減災事業 (調査計画事業 (ハザードマップ作成)) (H30)

町がワークショップ等を開催

- ワークショップなどにより地域の防災意識が向上。
- ハザードマップを町のホームページや広報に掲載し、地域住民に広く周知。



ワークショップの様子

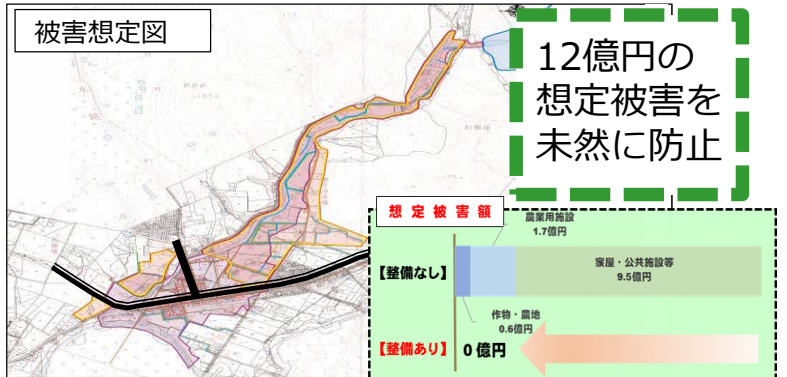


完成したハザードマップ

地域の取組

大規模震災時の人的被害の防止

- 想定被害面積98ha内の、農地や農業用施設はもとより下流住民の生命財産、公共施設への被害を未然に防止。



ため池機能の維持により農作物の安定生産が可能

- 耐震補強工事の実施により、水源が守られ、下流農地で安心して農業を営める環境が整う。
- 管内における生活諸物資の安定した流通の維持。



# 【国土強靱化】湛水被害を未然に防止し、良質な自給飼料の安定生産による地域活性化 【北海道江別市】

## 【生産者の声】



湛水被害がなくなること、良質な牧草をつくれます。牛は喜んで食べてますよ。

酪農家のIさん

## 農地や農業用施設の湛水被害の防止

ポンプ設備の改修などにより、**豪雨時の湛水被害の発生が防止**され、**良質な牧草等の収量や地域の安全が確保**される。

**11億円の湛水被害を防止**

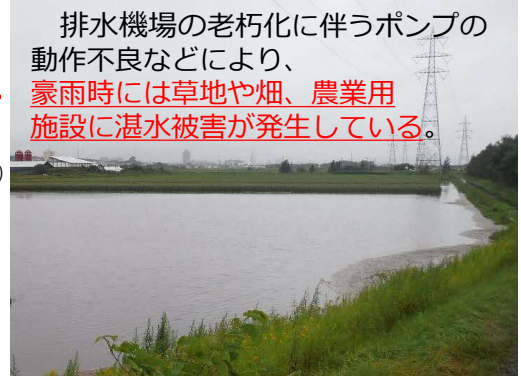


## 基盤整備

(H30年～R2年)

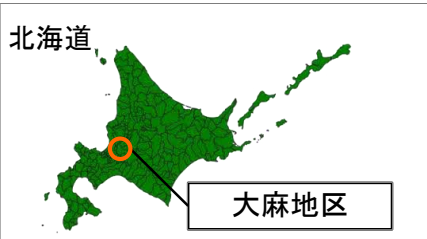
## 【整備前】

排水機場の老朽化に伴うポンプの動作不良などにより、**豪雨時には草地や畑、農業用施設に湛水被害が発生している。**



## 【取組地域の概要】

- 位置  
北海道江別市



- 主要作物  
・牧草等

- 主な支援施策  
・道営水利施設等保全高度化事業（基幹水利施設保全型）(H30～現在)

## 生産現場

## 生産性の向上と農業経営の安定

- **良質な自給飼料の確保**などにより、**安定的な生乳生産が実現**。
- 日本の酪農として初のJGAP認証を受けた農業法人がメガロボットファームを経営。



ロボット搾乳完備の牛舎がまぶしい株式会社kalm角山

## 地域の取組

## 堆肥の還元による地域活性化

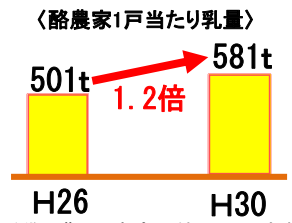
- 酪農家が近隣の貸し農園や直売所を運営している野菜農家に**完熟堆肥を還元**。



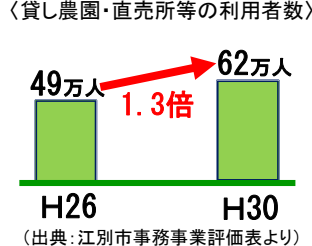
多くの人が農に親しむ市民農園 リピーターも多い人気の直売所

## 生乳生産の増大と農に触れ合う市民の増加

- 良質で安定的な自給飼料の確保と多頭化などにより**生乳生産量が増大**。



- 江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会が設立され、貸し農園や直売所などを通じた活発な交流・体験活動が行われており、**農に触れ合う市民が増加**。



—江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会の活動—



調理も楽しい農業体験ツアー



農家の栽培技術が学べる講習会

## 【生産者の声】

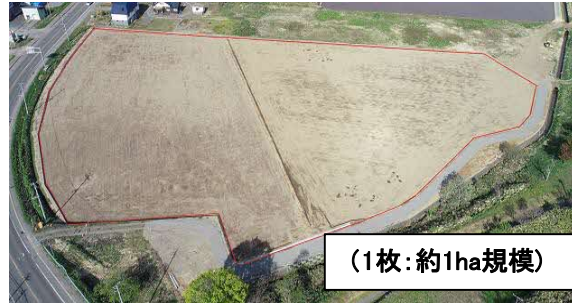


地域では経営が減少、労働力不足が問題となっています。  
大区画化によりスマート農業を活用し、農作業の省力・軽労化を進めていきたい。

大谷地区期成会長 Fさん

## ほ場の大区画化をきっかけとしたICT農業の推進

- 大区画化により、作業効率向上  
～スマート農業導入のきっかけに



(1枚:約1ha規模)

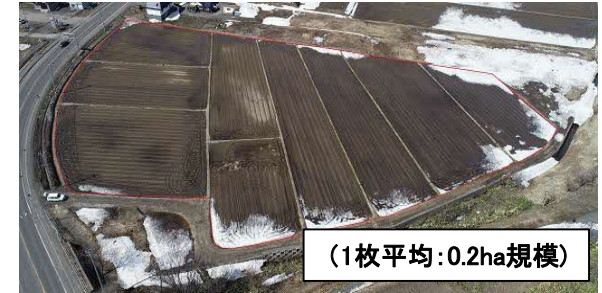
基盤整備

基盤整備

(H28～現在)

## 【整備前】

小区画水田のため、作業効率が悪い



(1枚平均:0.2ha規模)

## 【取組地域の概要】

- 位置  
北海道 蘭越町



大谷地区 他

- 主要作物  
・水稲、小麦、大豆、メロン、アスパラ、イチゴ等

- 主な支援施策  
・道営農地整備事業(H28～現在)

## スマート農業の推進

- ・スマート農業の推進のため、蘭越町ICT活用推進協議会を設立
- ・直進アシスト田植機の導入により、**省力化や労働負担が軽減**
- ・ガイダンスシステムの導入により、**営農作業の精度向上**や掛け合わせ減による**資材コストの低減**だけでなく、**夜間作業も可能**に
- ・自動操舵トラクターなどの導入も開始
- ・リモートセンシングを活用した「**田んぼ診断**」の導入  
(地力、生育状況、タンパク値等の見える化)

生産現場

## らんこし米のブランド力向上の取組

- ・町が、低タンパク米の生産農家及び販売業者に「らんこし米商標登録票」を発行して、ブランド力を向上。
- ・育苗管理の省力化と**種籾温湯消毒**による安全・安心な「らんこし米」のブランド構築のため、**町が育苗施設を設置・運営**

地域の取組

## 新規就農者支援及び安定雇用

- ・町が研修農場（トマト栽培）を設置して研修生を受け入れ、令和元年度には5戸が新規就農
- ・**農業と観光の連携による労働力の安定雇用**の推進  
(スキーリゾートとの連携)

担い手

## おいしい「らんこし米」

- ・米の食味日本一を決める R1「**米-1グランプリ**」でらんこし米が最高金賞を受賞
- ・R1 **ゆめぴりかコンテスト**で、JAようてい蘭越地区が最高金賞受賞



直進アシスト田植機